



令和元年12月25日発行 No.11 発行責任者 校長 西村 浩一

学校目標

- ・考える子
- ・豊かな心の子
- ・仲良くする子
- ・はたらく子
- ・命を大切にする子

音別小ホームページ

音別小 | 🔍 検索

「平成から令和に」

校長 西村 浩一

早いもので今年も残り1週間で切りました。今年も平成から令和に変わった年でもあります。偶然ですが私が教員になったのは途中で昭和から平成に変わった年度でした。ですから私にとってなおさら時代の流れを感じます。31年間続いた平成の時代は激動の時代でもありました。ベルリンの壁が崩壊したのは平成元年でした。翌年にはドイツが統一し、平成3年にソ連が消滅しました。平成7年にはウィンドウズ95の日本語版が発売され、それを契機にパソコンが一般家庭に瞬間に普及し始めました。6000人以上の犠牲者を出した阪神淡路大震災が起こったのもこの年です。携帯電話が1000万台を超えたのは翌平成8年。オウム真理教が世を騒がせたのもこの頃でした。平成12年には西暦が2000年に変わり、翌平成13年にはアメリカで同時多発テロが起きました。世界でテロが頻発するようになりました。23年には1万5千人以上の犠牲者を出した東日本大震災が発生しました。昨年30年は西日本豪雨により200名以上の尊い命が奪われました。平成は国内では巨大地震や津波、噴火、豪雨や台風等の自然災害、世界では巨大な国家の消滅と誕生、テロなど激動の時代でした。一方でインターネットや携帯電話、スマホの登場により生活は激変しました。AIの進歩もめざましく、生活はどんどん便利になっています。この先さらに予測困難な時代になっていくと言われています。次年度から全面実施される新学習指導要領もまさにそれらに対応できる力を育てることを目標としています。

さて、日本はこれから少子高齢化がさらに進み、世界でも人口増加や地球温暖化、森林の消失・海洋汚染などの環境問題、化石燃料の枯渇、貧困など国境を越えて解決しなければならない課題が山積しています。

令和の時代を作っていくのはまさに子どもたちです。これからの時代に求められるのは正解のない課題に対応できる能力です。考えるための基礎となる学力を身につけ、課題解決のために周りの人たちと協働し、アイデアを考え試行錯誤を繰り返し、諦めずに粘り強く取り組んでいく力を子どもたちに身につけることは学校が果たすべき使命です。

2学期も学習に生活に行事に子どもたちのたくさんの努力する姿が見られました。保護者や地域の皆様の支えがあってこそその学校です。PTA活動、CS推進委員会、授業に関わる見学や講師役としてのお願いなどなど大変お世話になりました。保護者の皆様の日頃からのご支援ご協力には重ね重ね感謝申し上げます。令和2年も皆様にとってよい年になることをお祈りしております。新しい年もどうぞよろしくお祈りいたします。

スケートリンク、たくさん利用してください

今年のスケートリンクですが、なかなか雪や気温に恵まれず、現在頑張って製氷作業をしている最中です。冬の楽しみと体力づくりのため、リンクがオープンしたら、たくさん利用してほしいと思います。今年度のスケート大会は、当初予定より1週間ずらし2月4日(火)を予定しています。3学期が始まってからの練習期間は限られていますので、ぜひともこの冬休み期間にたくさん練習をしてください。



スケートリンク使用時の雪での出入りについてお願い!

スケートリンク使用時のみなさまへのお願いです。
車でリンクへ行く場合、学校の正門から乗り入れないようお願いいたします。子供たちが歩いてリンクへ出入りをする通路となるためです。グランド脇の道路からリンクに入る道(百年の森の所の入り口)から入るようにしてください。

◆ 1 月行事予定

生活・健康・安全目標

生活のリズムを整えましょう

かぜをよぼうしよう

ルールを守り、冬道を安全に登下校しよう

日	曜	主な行事	給食	日	曜	主な行事	給食
1	水	元旦 年始休業		16	木		
2	木	年始休業		17	金		
3	金	年始休業		18	土		
4	土			19	日	冬季休業終了	
5	日			20	月	3学期始業式 冬休み作品展(~2/4まで)	○
6	月			21	火		○
7	火	(親子スケート教室・冬休み1日司書)		22	水		○
8	水	(親子スケート教室・冬休み1日司書)		23	木		○
9	木	(子どもカーリング教室)		24	金	避難訓練 児童委員会	○
10	金	(子どもカーリング教室)		25	土		
11	土			26	日		
12	日			27	月	朝会 児童委員会	○
13	月	成人の日		28	火	ALT	○
14	火			29	水		○
15	水			30	木	スクールカウンセラー来校日	○
				31	金	パートナーティーチャー来校日 漢字検定	○

冬休みのお願い

いよいよ子供たちが待ちに待った冬休みが始まります。25日間の冬休みには、お正月など、子供たちが楽しみにしている季節の行事もあります。

子供たちは冬休みの計画を立てたところですが、何気なく過ぎてしまう休みにならないよう、下記の6点についてご家庭でも声かけしていただければと思います。

1. お手伝い等の役割を与え有意義な年末・年始を

年末・年始の仕事は、子供にもお手伝いをさせることが大切です。家族がそれぞれ力を出し合い、家族の一員としての自覚を育てましょう。

2. 一家団らん楽しいお正月を

普段なかなか忙しく、お子さんと話をする時間がもてない保護者の方もいらっしゃると思います。

お正月は、子供と一緒に遊んだり、将来の夢や希望などを話し合ったり、一年の計を立てたりする機会にさせていただきたいと思います。

3. お金や物を大切にすることを

冬休みは、お年玉やプレゼントなどをもらう機会が多くなります。お金の価値や使い方の指導、人や物に感謝する気持ちを育てていただきたいと思います。



4. 「自分の生活習慣を自分でつくる」力を身に付けましょう

各種調査やアンケート等でも本校の課題となっている『TV、ゲームの時間』や『家庭での学習時間』について、ご家庭でもルールを決め、お子さんへの声かけをお願いいたします。



5. 適度に運動する機会をもちましょう

冬は家にとじこもりがちになります。スケートやウォーキングなど、適度に運動する機会をつくりましょう。

6. 安全な生活を

冬道の交通事故を始め、雪や氷による事故には十分気をつけ、楽しい冬休みにしましょう。

口腔衛生教室、防犯教室が行われました

今月も外部講師の方をお招きして、子供たちに授業を行っていただきました。

11日(水)は音別歯科診療所の福德様を講師に迎え、3・4年生を対象に口腔衛生教室を行いました。

歯の大切さや歯の健康の守り方、虫歯を防ぐ成分の含まれている食品など、わかりやすく、楽しく教えていただきました。



また、18日(水)には、音別駐在所の杉本様を講師に迎え、5・6年生を対象に防犯教室を行いました。

喫煙や飲酒が身体に与える影響を、子供たちの興味をひくスライドでとてもわかりやすく伝えていただきました。また、ネットトラブルやスマホ依存のことについてもあわせてご指導いただきました。

外部の先生方による授業は、専門的であるだけでなく、いつもとてもわかりやすくするためになるものばかりです。お二人の講師の方には心より感謝申し上げます。

車いすを寄贈しました

本校は、釧路市内に53校ある福祉教育協力校として、児童会を中心にペットボトルキャップの収集ボランティア活動に取り組んでいます。集めたペットボトルキャップは、社会福祉協議会を通じて業者に買い取っていただき、その売却益で福祉用具を購入し、市内の福祉施設に贈っています。

昨年度に各校の協力で約8000kgのキャップが集まり、車いすを購入することができました。

今年はその車いすを「えぞりんどうの里」へ寄贈することとなりました。協力校を代表して、本校の児童会役員5名が寄贈式に参加し、施設利用者の皆様へ贈呈いたしました。

子供たちのほんの少しずつの取り組みが、このような形となって表れることは大変励みにもなりますし、社会に貢献するという実感も持ちやすいものとなります。今後もこのような取り組みを継続して行ければと思います。

この取り組みにこれまでご協力いただいたご家庭、並びに地域のみなさま、本当にありがとうございました。今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



富貴紙作り体験

6年生は12月12日(木)、ふれあい図書館でふき紙作りの体験を行いました。この日は、高橋さん、朴さん、若狭さん、行政センターの方々のご指導を受けながら、ふき紙作りに挑戦しました。

体験したことのある児童もいましたが、慣れない手つきで木枠を揺すりながら紙すきを行いました。この日漉いた紙は、後日乾燥やプレスを経て、子供たちの元に届けられる予定になっています。

今後6年生は、この紙を使って卒業記念の作品を作り、卒業式で展示する予定です。



学校にお知らせ下さい

冬休み中、万が一お子さんに入院や大きなケガ等、何かありましたら、必ず学校にもご連絡下さいようお願い致します。
音別小学校 電話 01547-6-2419

【※ 土・日・祝日・年末年始は、釧路市教育委員会(0154-23-5186)へご連絡ください】